



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2601S		
科目名	基礎ゼミ		
担当教員	勝股 秀通		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 2		
講義室	1313	単位区分	必
授業形態	演習・ゼミナール	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■DPコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。</p> <p>DP3-H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然として思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。</p> <p>DP4-F [探求力・課題解決力] 問いを設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>■CRコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモングループリック (CR) との関連</p> <p>E1 学識と専門技能 (30%)</p> <p>F1 探求と論拠 (10%)</p> <p>H1 論理的思考 (10%)</p> <p>H2 批判的思考 (10%)</p> <p>I1 理解・分析と読解 (10%)</p> <p>I3 情報分析 (10%)</p> <p>K1 ライティングコミュニケーション (10%)</p> <p>K2 オーラル・コミュニケーション (10%)</p>		
教員の実務経験	<p>担当教員は長年、全国紙の新聞記者として外交・防衛など安全保障問題を専門としてきたほか、事件や事故、地震や噴火など自然災害の現場取材も豊富で、この基礎ゼミでは1回目の講義から最終15回目の講義まで、毎回、担当教員が過去に取材などした様々な危機の場面や状況について詳しく分析すると同時に、いま起きている、もしくは、起きる可能性のある危機について、危機への備えを含めてリアルに説明します。特に2023年度は20年から続く新型コロナウイルスの感染拡大、22年に勃発したウクライナ戦争という大きな危機の中で、報道から何が読み取れるのか。さらに予定されている福島原発で発生した汚染水の処理水の海洋投棄問題なども取り上げ、実際に担当教員が取材した過去の事象と比べながら、学生の理解を深めていきます。</p>		
成績ターゲット区分	<p>■能力開発の目標ステージとの対応</p> <p>2 進行期～3 発展期</p>		
科目概要・キーワード	<p>危機管理に属する多様な研究領域の中から、学生個人がそれぞれ1つの研究テーマを構築するために必要な、危機管理に関する基礎的な演習を行います。危機管理学の専門基幹科目にお</p>		

	<p>ける法学科目や、専門展開科目における災害マネジメント領域、パブリックセキュリティ領域、グローバルセキュリティ領域、情報セキュリティ領域の4領域の危機管理系科目を担当する教員が担当し、それぞれの研究領域における研究の手法について指導します。ここでの学びが、3年次以降のゼミナールや危機管理特殊研究へのより専門的な研究活動へとつながります。本科目では、専門的研究のテーマに基づいて、研究計画を構築し、プレゼンテーションを実施します。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p> <p>■キーワード：新聞を読む、言語化、プレゼンテーション グループ討議、リスク・コミュニケーション</p>				
授業の趣旨	<p>■副題 いま日本でそして世界では何が起きているのか。時代の動きに敏感になろう</p> <p>■授業の目的 この授業ではたくさんの新聞記事を読むこととなります。記事は教員が学部生として知っておく必要のあるテーマを毎回厳選し、事前に多くの記事（20枚程度）を配布します。なぜなら、危機への備えや対応を学ぶうえで必要なことは、常に社会のさまざまな動きや変化を知っていなければならないからです。そうした変化に目を凝らし、耳を傾け、そして敏感でいることに尽きます。この基礎ゼミでは、主に2021年から23年にかけて起きているさまざまな危機を扱った新聞記事を教材として、自分が見聞したことのない多くの情報に接することを通して、探求心や関心テーマを発見し、自分から進んで調べることの面白さを認識し、理解することを目的とします。</p> <p>■授業のポイント 災害から社会一般、国際情勢に至るまでさまざまな危機に関する問題の背景と内容の理解、プレゼンテーションなどを通じて、①学識・専門技能、②論理的及び批判的な思考力、③表現力といった能力の開発を行う。そのためには、将来のキャリアを見据えた学びにおいて、積極的に自らチャレンジする姿勢を育むことが望まれます。ただし、副題で示したように「時代の動きに敏感になる」ためには、授業で与えられる新聞記事だけではなく、新聞を読むくせをつけ、演習科目としての特性を生かしながら、新たなテーマについて議論を深めていくことにします。</p>				
総合到達目標	<p>■社会で起きている様々な問題を認知し、理解を深めることによって、問題の背景や課題、議論すべき事柄について、自分の言葉で伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞情報を出発点として、問題への関心や興味を高め、疑問点を深掘りすることができる。</li> <li>・社会で起きている様々な事象を、身近な問題として引き付け、解決策などを議論することができる。</li> </ul> <p>■同じテーマであっても自分とは考えの違う人は多い。グループ討議などを通じて、他者の意見をくみ取り、幅広い視点から理解し、表現することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を単眼で見るのではなく、常に複眼で見ることを心がけ、実践することができる。</li> </ul>				
成績評価方法	<p>■予習による発表とミニレポート（提出シート）ほぼ毎回（80%） 適用ルーブリック E1・F1・H1・H2 （評価の観点）授業に取り組むための準備として、授業で扱う事例について理解を深めてきているか評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説します。</p> <p>■少し長めのレポート1回（20%） 適用ルーブリック E1・F1・H1・H2・I1・I3・K1 （評価の観点）授業内容を理解し、自分で説明できるようになっているか評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説します。</p> <p>■ライブ配信型によるオンライン授業が中心になった場合には、適宜、成績評価の方法についても履修生に説明します。</p>				
履修条件	演習科目ということを自覚して欠席しないこと。欠席には厳しく対応、評価します。				
履修上の注意点	事前に配布する資料(新聞)を毎回しっかりと読み込み、自分の意見を言語化すること。授業では積極的に議論に参加すること。				
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 1865 517 1910">回</th> <th data-bbox="517 1865 1495 1910">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 1910 517 2157">1</td> <td data-bbox="517 1910 1495 2157">           ①授業テーマ ガイダンス            ②授業概要            教員と受講生全員が自己紹介し、履修生は関心のある危機管理に関するテーマについて発表する。担当教員は実務経験を踏まえて、全体の授業内容及び授業の進め方について説明します。（E1）            ③予習（120分）            履修生に事前に伝えておいた内容について、新聞記事等を参考にしながら知識を深め         </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 教員と受講生全員が自己紹介し、履修生は関心のある危機管理に関するテーマについて発表する。担当教員は実務経験を踏まえて、全体の授業内容及び授業の進め方について説明します。（E1） ③予習（120分） 履修生に事前に伝えておいた内容について、新聞記事等を参考にしながら知識を深め
回	内容				
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 教員と受講生全員が自己紹介し、履修生は関心のある危機管理に関するテーマについて発表する。担当教員は実務経験を踏まえて、全体の授業内容及び授業の進め方について説明します。（E1） ③予習（120分） 履修生に事前に伝えておいた内容について、新聞記事等を参考にしながら知識を深め				

	<p>ておく。自ら関心のある危機管理に関するテーマについて、発表できるようにまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 他の履修生が発表した内容を含め、研究テーマについてまとめておく。</p>
2	<p>①授業テーマ 終わりの見えないウクライナ戦争が及ぼす様々な影響</p> <p>②授業概要 2022年2月から始まったウクライナ戦争は2年目に入り、終結の出口が見えない。長引く戦争は国家や世界秩序だけでなく、国内企業はもとより私たちの生活にも深刻な影響を及ぼしています。そうした直面している多くのリスク(危機)について、22年から23年にかけて報じられた新聞記事から、現状と課題を説明し、一緒に議論していきます。発表者(5人前後)は、「なぜ」「どうして」を考えながら、5分程度のプレゼンテーションを行います。これは基礎ゼミでは毎回繰り返します。担当教員は実務経験を踏まえて、基礎ゼミ生の発表について評価していきます。(A1, E1, F1, K1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布された新聞記事を丹念に読み解き、関心や疑問、自分の意見を提出シートにまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 必要な記事をノートにスクラップし、授業で取り上げられた問題点などを確認し、自分の意見を言語化しておく。</p>
3	<p>①授業テーマ 防衛力強化の行方</p> <p>②授業概要 2022年末に安全保障政策の大転換と評された「安保3文書」が策定され、23年度から防衛力強化が進められる。このテーマをめぐる、賛成、反対など様々な意見が交差しており、長年、新聞記者として安全保障問題を取材してきた経験に基づき、報道されている内容について説明し、一緒に議論していきます。発表者(5人前後)は、「なぜ」「どうして」を考えながら、5分程度のプレゼンテーションを行います。担当教員は実務経験を踏まえて、基礎ゼミ生の発表について評価していきます。(E1, F1, H1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布された新聞記事を丹念に読み解き、関心や疑問、自分の意見を提出シートにまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 必要な記事をノートにスクラップし、授業で取り上げられた問題点などを確認し、自分の意見を言語化しておく。</p>
4	<p>①授業テーマ コロナ対応「2類」から「5類」への移行をめぐる議論</p> <p>②授業概要 コロナウイルスの感染症法上の分類が「2類」から「5類」に移行されるのに伴って、社会性kつが大きく変化していきます。新聞報道を読み解きながら、コロナ禍で何が議論され、何が議論されなかったのか、新聞報道を読み解きながら、一緒に議論していきます。発表者(5人前後)は、「なぜ」「どうして」を考えながら、5分程度のプレゼンテーションを行います。担当教員は実務経験を踏まえて、基礎ゼミ生の発表について評価していきます。(D1, E1, F2, G1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布された新聞記事を丹念に読み解き、関心や疑問、自分の意見を提出シートにまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 必要な記事をノートにスクラップし、授業で取り上げられた問題点などを確認し、自分の意見を言語化しておく。</p>
5	<p>①授業テーマ コロナで露見した多くの問題</p> <p>②授業概要 前回の移行に伴って、コロナウイルスはインフルエンザなどと同じ扱いになった。「2類」時代の3年間に私たちの社会では何が起きて、どのような危機に直面していたのか。2020以降の新聞記事をまとめながら、コロナ禍で起きた様々な事象について一緒に議論していきます。発表者(5人前後)は、「なぜ」「どうして」を考えながら、5分程度のプレゼンテーションを行います。担当教員は実務経験を踏まえて、基礎ゼミ生の発表について評価していきます。(G1, I1, I3, K1, K2)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布された新聞記事を丹念に読み解き、関心や疑問、自分の意見を提出シートにまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 必要な記事をノートにスクラップし、授業で取り上げられた問題点などを確認し、自分の意見を言語化しておく。</p>
6	<p>①授業テーマ 人口減少社会がもたらすさまざまな危機(1) 急務な働き方改革</p> <p>②授業概要</p>

	<p>少子化が日本、そして私たちの暮らしにどのような影響を及ぼすのか。報道が浮き彫りにする深刻な「未来予想図」を読み解いていきますが、1回目は出生率を上げるために不可欠な働き方改革をテーマと一緒に議論していきます。発表者(5人前後)は、「なぜ」「どうして」を考えながら、5分程度のプレゼンテーションを行います。担当教員は実務経験を踏まえて、基礎ゼミ生の発表について評価していきます。(F 1, F 2, G 1, H 1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布された新聞記事を丹念に読み解き、関心や疑問、自分の意見を提出シートにまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 必要な記事をノートにスクラップし、授業で取り上げられた問題点などを確認し、自分の意見を言語化しておく。</p>
7	<p>①授業テーマ 人口減少社会がもたらすさまざまな危機(2) 外国人労働者の受け入れ</p> <p>②授業概要 少子化に伴って労働生産人口の大幅な減少が想定されており、それを補完するために外国人労働者の受け入れを拡充する必要がある。だが、日本では外国人労働者の受け入れをめぐる、異文化への理解が足りることなどに起因するトラブルが多発している。外国人労働者の現状と課題について、一緒に議論していきます。発表者(5人前後)は「なぜ」「どうして」を考えながら、5分程度のプレゼンテーションを行います。担当教員は実務経験を踏まえて、基礎ゼミ生の発表について評価していきます。(A 1, A 2, D 1, E 1, F 2, G 1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布された新聞記事を丹念に読み解き、関心や疑問、自分の意見を提出シートにまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 必要な記事をノートにスクラップし、授業で取り上げられた問題点などを確認し、自分の意見を言語化しておく。</p>
8	<p>①授業テーマ 人口減少社会がもたらすさまざまな危機(3) 地域の災害対応力</p> <p>②授業概要 実務教員として記者時代に取材、経験した1986年の伊豆大島・三原山噴火災害における消防団の活動を説明するとともに、最近の災害事例の記事の中から「共助」が弱体化する現状を認識し、地域の防災力を向上させるために何が必要か、綿sたちは何をしなければならないのかを一緒に議論していきます。発表者(5人前後)は「なぜ」「どうして」を考えながら、5分程度のプレゼンテーションを行います。担当教員は実務経験を踏まえて、基礎ゼミ生の発表について評価していきます。(D 1, E 1, F 2, G 1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布された新聞記事を丹念に読み解き、関心や疑問、自分の意見を提出シートにまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 必要な記事をノートにスクラップし、授業で取り上げられた問題点などを確認し、自分の意見を言語化しておく。</p>
9	<p>①授業テーマ 福島原発汚染水の処理水海洋放出問題</p> <p>②授業概要 2023年の春から夏にかけて、原発事故で発生した汚染水を無毒化した処理水の海洋放出が予定されています。この問題をめぐっては地元の漁業関係者をはじめ、中国や韓国といった周辺国の理解が不可欠です。新聞記事を読み解きながら、政府の対応の現状と課題、多くの問題点について一緒に議論していきます。発表者(5人前後)は、「なぜ」「どうして」を考えながら、5分程度のプレゼンテーションを行います。担当教員は実務経験を踏まえて、基礎ゼミ生の発表について評価していきます。(A 1, D 1, E 1, F 2, G 1, I 1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布された新聞記事を丹念に読み解き、関心や疑問、自分の意見を提出シートにまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 必要な記事をノートにスクラップし、授業で取り上げられた問題点などを確認し、自分の意見を言語化しておく。</p>
10	<p>①授業テーマ 日韓関係改善への道筋</p> <p>②授業概要 日本や地域の平和、安定にとって良好な日韓関係は不可欠ですが、歴史認識、竹島、慰安婦、そして徴用工などの諸問題をめぐって、日韓関係は長く低迷しています。徴用工問題や佐渡金山をめぐる世界遺産登録問題などを事例に新聞記事を読み解き、日韓関係の歴史について理解を深めながら議論していきます。発表者(5人前後)は、「なぜ」「どうして」を考えながら、5分程度のプレゼンテーションを行います。担当教員は実務</p>

	<p>経験を踏まえて、基礎ゼミ生の発表について評価していきます。(A 1、A 2、D 1、E 1、F 2、G 1、I 1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布された新聞記事を丹念に読み解き、関心や疑問、自分の意見を提出シートにまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 必要な記事をノートにスクラップし、授業で取り上げられた問題点などを確認し、自分の意見を言語化しておく。</p>
11	<p>①授業テーマ ネット上の有害情報について</p> <p>②授業概要 2022年から23年にかけて、「闇バイト」による凶悪な強盗事件が頻発し社会問題となったが、22年夏にはネット上の公開情報で手製銃を作り、安倍元首相を銃撃死させる事件が発生している。このほか自殺を手助けするような書き込みも相次いでおり、インターネット上の悪質情報の規制について、一緒に議論していきます。発表者(5人前後)は、「なぜ」「どうして」を考えながら、5分程度のプレゼンテーションを行います。担当教員は実務経験を踏まえて、基礎ゼミ生の発表について評価していきます。(D 1、E 1、F 2、G 1、I 1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布された新聞記事を丹念に読み解き、関心や疑問、自分の意見を提出シートにまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 必要な記事をノートにスクラップし、授業で取り上げられた問題点などを確認し、自分の意見を言語化しておく。</p>
12	<p>①授業テーマ 沖縄問題を考える</p> <p>②授業概要 2022年は沖縄の本土復帰50年の節目であったが、本土の人々の沖縄理解は進んだのだろうか。6月23日の「沖縄慰霊の日」前後の新聞記事や基地問題をめぐる新聞記事などを読み解きながら、沖縄への理解の乏しさを認識するとともに、若い世代として何ができるのか、何を必要があるのかを一緒に考えます。発表者(5人前後)は、「なぜ」「どうして」を考えながら、5分程度のプレゼンテーションを行います。担当教員は実務経験を踏まえて、基礎ゼミ生の発表について評価していきます。(A 2、D 1、E 1、F 2、G 1、I 1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布された新聞記事を丹念に読み解き、関心や疑問、自分の意見を提出シートにまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 必要な記事をノートにスクラップし、授業で取り上げられた問題点などを確認し、自分の意見を言語化しておく。</p>
13	<p>①授業テーマ 新たな課題</p> <p>②授業概要 2022年から少年法が改正され、18歳と19歳の少年は「特定少年」と呼ばれ、刑事事件で起訴された場合には実名で取り扱われるなど、これまでの匿名性とは大きく様変わりします。成人年齢の18歳への引き下げも含め、少年法改正に関係する新聞記事をよく読み、発表者(5人前後)は、自身の関心事項について5分程度のプレゼンテーションを行う。担当教員は実務経験を踏まえて、基礎ゼミ生の発表について評価していきます。(E 1、F 1、H 1、H 2、I 1、I 3、K 2)</p> <p>③予習(120分) 改正少年法に関する新聞記事をよく読み、施行後にもたらされる変化について、自分の意見をまとめておくこと。</p> <p>④復習(120分) 授業における他者の発表を取り入れながら、少年法をめぐる新たな課題について整理しておく。</p>
14	<p>①授業テーマ 安倍元首相の殺害から1年</p> <p>②授業概要 2022年7月に発生した安倍元首相の銃撃死事件。事件の背景となった政治と宗教の関係、及び統一教会をめぐる問題は、その後どのように進展しているのか。警察の要人警備の問題は改善されたのだろうか。歴史に刻まれる事件から1年を振り返り、何が変わり、何が変わっていないのかを、多くの新聞記事から読み解き、一緒に議論します。発表者(5人前後)は、「なぜ」「どうして」を考えながら、5分程度のプレゼンテーションを行います。担当教員は実務経験を踏まえて、基礎ゼミ生の発表について評価していきます。(D 1、E 1、F 2、G 1、I 1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布された新聞記事を丹念に読み解き、関心や疑問、自分の意見を提出シート</p>

	<p>にまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 必要な記事をノートにスクラップし、授業で取り上げられた問題点などを確認し、自分の意見を言語化しておく。</p>
15	<p>①授業テーマ 2023年のトピックス(総まとめ)</p> <p>②授業概要 23年になって発生した事件や事故の中から、危機管理を学ぶうえで必要な内容を多く含んでいるトピックスについて新聞記事を元に深掘りします。発表者(5人前後)は、「なぜ」「どうして」を考えながら、5分程度のプレゼンテーションを行います。担当教員は実務経験を踏まえて、基礎ゼミ生の発表について評価していきます。(D1, E1, F2, G1, I1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布された新聞記事を丹念に読み解き、関心や疑問、自分の意見を提出シートにまとめておく。</p> <p>④復習(120分) 必要な記事をノートにスクラップし、授業で取り上げられた問題点などを確認し、自分の意見を言語化しておく。</p>
関連科目	「ジャーナリズム論 (RMGT3575S)」(2, 3, 4年次前期担当) 「ゼミナールI~V (RMGT4601~04)」(2, 3, 4年次担当)
教科書	教材としては、毎回、事前に配布する新聞記事(15枚~25枚)を使用します。
参考書・参考URL	学修の質を高めるために参考となる文献や資料については、授業の内容に応じて、適宜指示します。
連絡先・オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>■連絡先 開講時に告知します。</li> <li>■オフィスアワー 開講時に告知します。それ以外の時間は、メール等で事前にアポイントメントを取ることで研究室内で対応します。</li> </ul>
研究比率	<ul style="list-style-type: none"> <li>■危機管理領域との対応 災害マネジメント20%、パブリックセキュリティ20%、グローバルセキュリティ20%、情報セキュリティ40%</li> <li>■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学75% : 法学25%</li> </ul>

